

1

次の文の( )に適する語句等を語群から選んで記号で答えなさい。

ロシアの(ア)は、当時知られていた63種類の元素を(イ)の順に並べると、化学的性質の類似したものが現れることを発見した。さらに詳しく調べると、縦の列に同じ性質を持つ元素を配列することができた。これを表にして示したものを、元素の(ウ)という。

この表を見ると、1族の元素は、(エ)を除いて全て(オ)であり、(カ)になりやすい元素である。一般に、これらは(キ)と呼ばれている。また、18族の元素は、全て(ク)で原子1個で安定に存在し、常温での状態は(ケ)があるので、(コ)と呼ばれている。

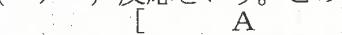
この表は、当初は空欄が見られたが、現在は、118種類の元素が発見され空欄を埋めている。

- |             |          |            |             |
|-------------|----------|------------|-------------|
| (a) メンデレーエフ | (b) 水素   | (c) ドルトン   | (d) 酸素      |
| (e) 非金属元素   | (f) 金属元素 | (g) 原子量    | (h) 分子量     |
| (i) 液体      | (j) 周期律表 | (k) 希ガス    | (l) 1価の陰イオン |
| (m) 1価の陽イオン | (n) 気体   | (o) アルカリ金属 |             |

2

酸塩基反応に関する次の文の( )に適する語句等を語群から選んで記号で答え、各問いに答えなさい。

塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を混合させると、ある割合のところで中性の溶液となる。この反応を(ア)反応という。この化学反応式は、次のように書くことができる。



この混合溶液は全て電離しているので、そのイオン反応式は次のように表される。

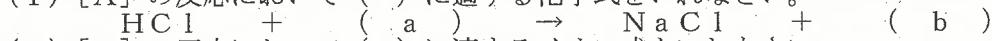


この反応において、両辺で同じものを消去すると、そのイオン反応式は次のようになる。

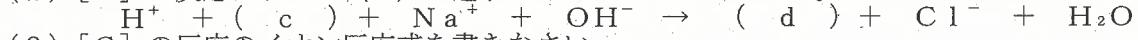
つまり、(ア)とは、(イ)と(ウ)から(エ)が生じる反応であることがわかる。そのとき、(イ)と(ウ)の数は(オ)。

- |              |             |              |
|--------------|-------------|--------------|
| (a) 溶解       | (b) 水酸化物イオン | (c) ナトリウムイオン |
| (d) 塩化物イオン   | (e) 水素イオン   | (f) 水        |
| (h) 一定の割合になる | (i) 同じである   | (g) 中和       |
|              |             | (j) 単体       |

(1) [A]の反応において( )に適する化学式をいれなさい。



(2) [B]の反応において( )に適するイオン式をいれなさい。



(3) [C]の反応のイオン反応式を書きなさい。

3

酸化還元反応について、次の文の( )に適する語句等を下の語群から選んで答え、さらに各問いに答えなさい。

一般に、酸化還元反応は、電子のやりとりが行われて反応が進行する。ある物質中の原子が電子を失うとその原子やそれを含む物質は(ア)され、物質中の原子が電子を受け取るとその原子やそれを含む物質は(イ)されたという。

例えれば、熱した金属銅と塩素ガスを反応させると、塩化銅(II)ができる。このとき金属銅は電子を失って(ウ)に変化し、同時に塩素ガスは電子を受け取って(エ)に変化し、塩化銅(II)を生じる。この場合、塩化銅(II)は(オ)による化合物であることがわかる。

- |             |              |          |          |
|-------------|--------------|----------|----------|
| (a) 酸化      | (b) 還元       | (c) 共有結合 | (d) 分子間力 |
| (e) イオン結合   | (f) 塩化物イオン   | (g) 塩素分子 |          |
| (h) 銅(I)イオン | (i) 銅(II)イオン | (j) 中和   |          |

(1) この反応の化学反応式を書きなさい。

(2) この反応において、酸化された原子の元素記号を答えなさい。

(3) この反応において、酸化剤として働いた物質の物質名を答えなさい。

(4) 塩化銅(II)における銅原子の酸化数を答えなさい。

(5) この反応の前後において、塩素原子の酸化数は増えたか減ったか答えなさい。

**4**

化学結合に関する文の( )に適する語句等を語群から選んで記号で答え、各問い合わせなさい。

金属元素と非金属元素が結合して物質を構成する場合を考える。

一般に、金属元素は(ア)に、非金属元素は(イ)に変化して安定になり、その電気的引力により結合する。これを、(ウ)という。

例えば、塩化ナトリウムでは、金属ナトリウムはナトリウムイオンに変化して安定になり、塩素は、塩化物イオンに変化して安定になり、そして、その電気的引力により結合し結晶を形成する。この場合、電荷の異なるイオンがきちんと配列して強く結合しているが、より強い力が働くと配列がずれ、結晶は(エ)やすくなる。この性質を、(オ)という。

- |           |           |          |        |
|-----------|-----------|----------|--------|
| (a) 金属結合  | (b) イオン結合 | (c) 陽イオン | (d) 溶解 |
| (e) 水素イオン | (f) 陰イオン  | (g) 剥離   | (h) 溶け |
| (i) 割れ    |           |          |        |

(1) この結合による結晶の性質は、次のどれか、それぞれ適するものを記号で答えなさい。

- (i) 結晶の融点は (a) 高い (b) 低い
- (ii) 結晶の硬度は、 (c) 堅い (d) 軟らかい
- (iii) 結晶の電導性は (e) 固体で電気を通す (f) 水に溶けて電気を通す

(2) 金属元素が安定なイオンになる際に必要なイオン化エネルギーが最も低い元素はどれか、次のうちから元素記号で答えなさい。

マグネシウム カリウム アルミニウム カルシウム

(3) 塩化マグネシウムの組成式を書きなさい。

**5**

次の各問い合わせに答えなさい。

(1) 次の文は、身のまわりの物質について書かれたものである。内容が正しいものには○、間違っているものには×を答えなさい。

- (ア) 自然界においては、金属のほとんどは化合物で存在するが、金は単体として存在している。
- (イ) 歴史上、銅とスズの合金であるブリキは、紀元前から用いられている。
- (ウ) セラミックスやガラスを構成している主元素は、炭素である。
- (エ) 洗剤の主成分は、親油性と親水性の構造をもつ界面活性剤である。
- (オ) 塩素は毒性があるが、水道水等の殺菌に用いられている。

(2) 各問い合わせに適するものを語群から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 花火の色は金属の炎色反応を利用している。黄色の炎の金属名を何か。
- (イ) 混合物を分離する方法で、葉っぱから葉緑体を分離する方法は何というか。
- (ウ) 酸素ガスとオゾンのように、同じ元素でできていて性質の異なるものを互いに何というか。
- (エ) 物質の三態変化で、固体から気体または気体から固体への変化を何というか。
- (オ) 温度には、上限はないが下限があり、-273℃以下の温度は存在しない。このときの温度を何というか。

- |          |          |           |        |
|----------|----------|-----------|--------|
| (a) カリウム | (b) 同素体  | (c) 絶対零度  | (d) 分留 |
| (e) 凝固   | (f) 華氏零度 | (g) ナトリウム | (h) 抽出 |
| (i) 同位体  | (j) 昇華   |           |        |